

第1分科会 飛騨地区 飛騨市小中学校教頭会「教育課程に関する課題」

回答者数 233名

質問

総合的な学習の時間の各学年の内容を知りたいです(岐阜地区 中学校)

「マイプロジェクトでの地域貢献」について、児童生徒一人一人が設定した課題を解決するための活動を実現していくためには、かなりの労力が必要だと思われそうですが、どのように進められているのでしょうか。また、本校は小規模校なので、この魅力的な取組を参考にしていきたいと思うのですが、大規模校でも実施は可能なのでしょうか。(美濃地区 中学校)

会議の時間をどのように生み出しているのか。参加者が全員揃うことは難しいのではないかと。(西濃地区 中学校)

「CS 学校支援部協力員」は、「学校運営協議会」に所属はしているか？(東濃地区 中学校)

地域の方は進んで学校の取り組みに協力してくれていますか？(岐阜地区 小学校)

教頭先生をコーディネーターとしたことによる利点は多いにあると思います。しかし、その際の負担に関して、手立てを講じてみえると思います。どんな手立てを講じてみえますか。(可茂地区 小学校)

地域学校協働活動推進員の選出はどのようにしていますか。(可茂地区 小学校)

全市的に教頭会でビジョンを共有して取り組んだかと思いますが、そのビジョンをどのように作成し、どう進めたのか、その過程をもう少し詳しく知りたいと思いました。(飛騨地区 小学校)

市が一体となって目指す子どもの育成を行うにあたってのコア会議は有効と思われるが、年8回の教頭会に加え、年10回のコア会議に参加する教頭先生は、負担感はないのか？(可茂地区 小学校)

地域の方との交流をするために、教員以外で地域連携をコーディネーターする方との打ち合わせをするときに、難しかったことはなんですか？(飛騨地区 小学校)

社会教育主事の配置とその現状、また効果があれば知りたいです。現状無ければ、今後の展望も知りたいです。(飛騨地区 中学校)

意見・感想

学校は人の入れ替わりがある職場のため、システムの構築について参考になりました。(岐阜地区 中学校)

ふるさと教育を推進する上で地域等の教育資源を活用するため、教頭が中核を担ってカリキュラムの開発に関わっている実践を学ぶことができ良かったです。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

総合的な学習を軸にしたカリキュラムマネジメントができていると感じた(飛騨地区 小学校)

飛騨市には素晴らしい文化と自然、人がある。それらを地域とともに子どもにどう伝え、根付いた学びとしていくのか、を構築されており、魅力的だと感じました。教頭として、この全体を把握し、推進することのたいへんさはあるかと思いますが、今後も人に視点をあてた学習が充実していくことを願っています。(美濃地区 小学校)

地域連携コアチームを核とした組織づくりがとても参考になりました。教頭の役割が明確になっており、誰が赴任しても継続できる仕組みになっているところが素晴らしいと感じました。(岐阜地区 小学校)

総合学習のカリキュラム改善は大変勉強になりました。(可茂地区 中学校)

教頭の役割の大きさを感じました。総合的な学習の時間のカリキュラム改善では、縦のつながりと横のつながりの両面から見直しがされていて参考になりました。(西濃地区 小学校)

飛騨市学園構想のもと、「志を語り合いしなやかに挑み続ける飛騨びと」の育成を全体として推進しているところが素晴らしい。また、総合的な学習の時間のカリキュラムも内容から資質・能力で再整理している点も参考になった。本校も地域との連携によるキャリア教育を推進しているが、飛騨市のマイプロジェクトの取組も今後の参考にしたい。(西濃地区 中学校)

本校でももっと近隣の小中学校と連携できるとよいと改めて感じました。(岐阜地区 中学校)

地域と学校との懸け橋のパイプ役として、教頭の役割は大きいと感じた。(西濃地区 小学校)

本校も学校運営協議会で話題にし、地域学校協働活動として地域の方との交流を行い始めましたが、担任の思いに合う人材を探し調整していくことに大変さを感じています。ただ、教頭が担任の思いを代弁するより子どもが直接伝えることはよいアイデアだと思いました。(可茂地区 小学校)

学校運営協議会を生かした学習過程づくり(東濃地区 小学校)

教頭の立場から、地域と学校をつなぐことを生かした教育課程編成がなされ、効果的に働いていると感じた。地域連携コアチームが組織の中で機能していることが、CS 学校支援部協力員とのコラボにより、より大きな規模での活動を可能にしているように思われる。教頭先生が地域を知り、そこに住む人を知り、その中に深く関わっておられるからこそその実践であると思われる。個々の学校は小規模であるが、飛騨市が一つになったときのチーム力はすごいものがあると感じた。地域に根付いた実践であり、これからの「みんなが幸せになれる学校」づくりには大切なポイントであると考えた。(西濃地区 小学校)

飛騨市学園構想をベースに教育ビジョンを学校と地域が共有し、教育活動を推進していることがよく理解できました。コラボ神岡の取組では、地域連携活動室(コラボルーム)で地域の方と生徒が直接語り合い、連携を深めていることが分かりました。また、古川西小学校では、学校運営協議会と児童が交流し、自分たちの願いを具現している姿には驚きました。ふるさとを愛し、持続可能な学校や地域を創ろうと協働する飛騨市の姿に共感しました。(東濃地区 中学校)

飛騨市全体で学園構想が立てられ、それをもとに各学校で実践が行われているので、理想の飛騨っ子が育成できるすばらしい構想だと思いました。また、コアチームという新たな仕組みづくりもされ、それによって地域を巻き込んだ活発な活動が生み出されているところもすばらしいと思いました。少子化時代を迎え、各学校単位で子どもを育てるのには限界を感じます。より多くの方々に教育に携わってもらい、皆で地域の子どもたちを育てていこうとする飛騨の先生方のご努力が、よく伝わってきました。素敵な実践を紹介いただき、ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

「CS 学校支援部協力員」を組織として位置付け、年度当初から対話を続けたことが学校も地域も「自分ごと」として取り組む鍵だと実感しました。(西濃地区 中学校)

マイプロは、一人一人が自分のテーマを追求できるので、より意欲的になると感じました。(岐阜地区 中学校)

地域と学校をつなぐための具体的な実践や、総合的な学習の時間のカリキュラムの改善について具体的な実践が紹介されており、大変分かりやすかったです。ありがとうございました。(岐阜地区 中学校)

教頭が地域連携協働主任や地域連携コアメンバーと地域連携コアチームを作り、地域学校協働活動推進員と連携することで、地域の中でふるさとを大切に育てていくことができるのだと実感しました。(西濃地区 小学校)

「地域と学校をつなぐ体制づくり」について、私も地域の教育力を学校の教育活動に活かすための組織づくりを進める必要があると感じていましたが、どのように進めていったらよいか思案中でした。学校運営協議会やPTA、地域事務所をコラボ組織に組み込み、地域の教育力として活用する飛騨市の取組は、たいへん参考になります。(美濃地区 中学校)

古川中学校の総合的な学習のマップ(たてのつながり)が明確でよかったです。マイプロジェクト講師との連絡・調整はたいへんだと感じましたが、生徒が個々の興味に応じて具体的に地域に貢献していることは素晴らしいと感じました。(美濃地区 小学校)

飛騨市学園構想のもとで、市全体でふるさと教育の方向を共有してそのための組織体制を構築されており、どの学校でも実践が確実に進むような仕組みについて学ぶことができた。(可茂地区 小学校)

教頭が中心となって、地域連携コアチームの組織づくり、対話の場づくりをされたことで、地域との連携・協働が活発になったという成果があり、とても参考になりました。地域との連携・協働は、生み出すまでが大変だと思います。形ができ、軌道に乗れば、今後も子どもたちの資質・能力の育成のために、活用していくことができると思います。また、学校運営協議会と児童が、こんな学校にしたい！と直接語り合い、行事を通して実現させていくことができた実践も勉強になりました。こちらについては、実践しやすい方法だと思いますが、教頭先生のご苦労があったことと思います。とても勉強になるご実践をありがとうございました。(西濃地区 中学校)

教頭が地域連携協働主任となり、地域学校協働活動推進員と連携を図ることで、地域を巻き込んだ学習を創り出すことができている点が参考になりました。地域のもつ力を引き出すための体制を構築することの必要性を感じました。(西濃地区 小学校)

古川中学校のマイプロジェクトについて、子どもたち自身が地域に貢献しているという実感をもつことができたのは、地域への愛着があり、地域の支えもあり、先生方の熱意あってこそその活動であると思いました。結びつきを強くするために教頭先生の渉外が重要になっておられることとおもいます。目標にしたい実践だと思いました。(西濃地区 小学校)

私が所属する市でも、単学級の小学校が複数あることや、学校の統合が話題に上がる状況から、学校同士の連携の必要性を強く感じています。また、今回の実践を伺い、地域連携の在り方として、地域の方の具体的な願いや意見を伺う場を設けてみたいと思いました。今回は、貴重な研修の機会をいただき、ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

地域と学校をつなぐ学校体制づくりとしての「地域連携コアチーム」を核とした組織づくりは魅力的だと感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

地域連携の在り方についてたいへん参考になりました。コアチームを編成し、教頭が組織の核となって動くことで様々な交流が生まれていました。飛騨市ならではの実践で勤務校でも検討してみたいと思います。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

願う子どもの姿に向けて構想が練られている点が素晴らしい。(西濃地区 中学校)

総合的な学習の時間を核としながら、ふるさと教育を行われた手法に刺激を受けました。地域に貢献できる人間を育成していく学校の役割について再確認しました。(東濃地区 中学校)

飛騨市学園構想を元に、地域と学校をつなぐ学校体制づくりをされたことがよくわかりました。とくにコラボルームとして地域協働活動の場を位置付けること、児童と語り、思いを共有してふるさと学習を進めること、参考になりました。(東濃地区 小学校)

飛騨市学園構想をもとに、研究を進められている点に、地域で共通理解を図りながら実践することの大切さを実感しました。また、古川西小の総合学習の計画と実践は、そのノウハウを本町の教頭会でも共有したいと思いました。(西濃地区 小学校)

新しい関係を築くという考え方で担当者に働きかけていくことは前向きな仕事の仕方だなと思った。また、児童生徒と学校運営協議会と話し合う機会があるのは新鮮でした。マイプロの取入れで自己肯定感があがるというのはとても素敵でした。(可茂地区 中学校)

地域ぐるみでの一体とした取り組みがいいですね(東濃地区 小学校)

持続可能な地域連携がとても参考になりました。本校でも、コロナ禍後に教頭が窓口となり児童生徒と地域の方々との交流が復活しつつあります。対話の場の必要性は実感していますが、時間・場の確保が課題となっています。様々な方策を教えてください、ありがとうございました。(美濃地区 中学校)

教頭がマネジメントすることは、他の先生方にとっては働き方改革につながるし、連携がとりやすくてとても良いと感じましたが、一方で、教頭の働き方については負担が増える一方ではないかと考えます。内容的に教務主任会が担うことではないかと感じました。その足りない部分(外部との連携等)を教頭が手助けすればよいと考えます。(可茂地区 中学校)

地域の特性を活かしながら、学年に応じた課題解決型の学習を進めていくことは重要であります。「ふるさとを知る」～「ふるさとに関わる」～「ふるさとに貢献する」といった系統的な学習活動を私自身も企画・実施して

きた経験もあります。しかし、学校運営協議会を含め、地域で協力していただける人材を確保することが大きな課題でもあります。また、本校では、学校運営協議会の立ち上げにも至っていません。ましてや、近年、PTAからの脱退案件(保護者も教職員も)もあり、PTA 役員の選出・PTA 組織づくりでも苦慮しているのが現状です。つまり、学校としてやりたいことがあっても、それを支える後ろ盾組織がつくることすら難しい学校も出てきます。この問題をどうしていくのか？ この先、重要になってくると感じています。(東濃地区 中学校)

組織として共有していくこと、マイプロジェクトでの地域貢献の大切さを段取りとともに見直しをもって行う改めて感じました。(東濃地区 中学校)

地域連携協働主任として校内の担当を決め、取り組まれているので、実効性のあるご実践になっていることを学びました。(東濃地区 中学校)

総合的な学習と地域とのつながり、郷土愛を高めるといった、どこの学校でも課題になっているようなことがとてもクリアで分かりやすかったです。学校運営協議会をからめていくところもとても素敵な御実践だと感じました。(可茂地区 中学校)

飛騨市として共通の歩みをするという願いを持って、「飛騨市学園構想」をどの学校も意識しているところが素晴らしいと思いました。(飛騨地区 中学校)

地域連携協働主任である教頭の働きかけにより、様々な人とのつながりができたことが大変参考になりました。(東濃地区 中学校)

ふるさと教育の核となる総合的な学習の時間が、本校は体験のみになっていると感じます。全校的に改善を図りたいと願っているものの、若手職員も多く、前年踏襲することで精一杯という状況です。学校として、教頭が中心となり、少しずつでも変えていく必要性を強く感じました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

地域に根差した教育の重要性について考えることができた素晴らしい発表でした。(可茂地区 中学校)

コラボルームと地域連携ボードのアイデアに興味を持ちました。本校も地域連携を生かしたふるさと教育に力を入れており、連携を密に進める上で、交流する場や機会を取り入れていきたいと思いました。(東濃地区 小学校)

児童生徒が地域の方と直接協議できる場を学校内に位置付ける工夫の効果が大きいことを学びました。(可茂地区 中学校)

地域に生きる児童生徒の育成について、本校も課題として総合的な学習の時間を中心に取り組んでいるので、大変参考になる発表でした。

また、探究的な学習によって自己肯定感が高まっていることに、これからの本校の取組について大きく背中を押していただけました。(西濃地区 小学校)

飛騨市学園構想のもとで、地域と学校をつなぐための組織づくりや対話の場づくりが具体的で、とても有意義であると思いました。ふるさとを誇りに思う飛騨びとが、実際に確実に育まれていて素晴らしいです。(東濃地区 小学校)

地域連携コアチームの位置付けと活用が素晴らしい。地域との連携が教頭を中心としたチームで行うことで、地域の願いや地域学習の効果や課題点を共有することができる。小規模校でもできる連携を工夫し、自校でも取り入れたい。(西濃地区 小学校)

本町も児童数減により小規模校化が進んでおり、これからはますます町内の学校間の交流を進めていかないと感じています。また、学校は地域にとってかけがえのない存在であることを踏まえ、地域との協働による、地域ぐるみでの児童育成が必要になってきます。そんな中での教頭の役割は「繋ぐ」ことであると感じました。世の中が目まぐるしく変わる中、前向きに、児童生徒の成長を地域と共に支えていきたいです。(西濃地区 小学校)

飛騨市が、地域と一体となって未来の担い手をそだてようとしていることがわかりました。各校での単独での取り組みだと、学校ごとに育てようとする資質能力や方向性がバラバラになってしまいがちですが、飛騨市としての狙いを定め、教頭会が中心となってふるさと学習を推進していることが素晴らしいと思いました。(岐阜地区 小学校)

総合的な学習の時間の中で、地域の方の願いを生かした指導計画を作成していくこと、その特性を授業の中で取り上げていくことが、子どもたちの主体性、資質・能力を身に付けていけると再確認することができました。(東濃地区 中学校)

総合的な学習の時間を核に、ふるさと教育を充実させておられ、子供たちの、社会に貢献できる人間になりたいという気持ちを、とても高めてみえることが凄いと感じました。地域の方々の願いに触れさせること、対話する事を大切にしながら、計画をたて実践し、子供たちに地域の一員としての自覚を芽生えさせている所、学ばせていただきました。これを可能にするために、教頭が地域と学校を結ぶ役割を担ってみえること、とても大変そうだなと想像します。貴重な実践をありがとうございました。(可茂地区 小学校)

総合的な学習の時間の単元指導計画に地域の方の願いを位置づけ、課題解決学習の出口がその願いを受けたものになるようにと改善された取組や、地域を知る、関わる、貢献するとステップアップしながら、地域とともに自分づくりをめざした取組など、所属校の実情に合わせ、可能な部分を取り入れて総合的な学習の時間の改善に活かしたい。(美濃地区 中学校)

資質・能力を生かしことは大事。人はいろいろな方々に支えられていることを忘れない。横のつながり、縦のつながりも気にしながら関係を太くしていかないといけないと思いました。(岐阜地区 小学校)

コロナ禍を経て、学校と地域との関係が希薄になり、ふるさと学習のあり方についても見直しをしなければならぬのが現状です。昨年度まで赴任していた小規模校とくらべ、市立の小学校では、地域の方のお顔が見られないことも多く、教頭としての「つながりづくり」を課題に感じています。第一分科会でお聞きした「飛騨びと」という言葉に刺戟をうけました。来年度の目標として検討を重ねていきたいと思えます。ありがとうございました。(可茂地区 小学校)

地域共通の課題に目を向け、連携した教育活動を創造しているところが参考になった。(飛騨地区 小学校)

・研究内容(2)の総合のカリキュラム改善がとてもよかった。本校でも郷土教育を長く行っており、地域の方の協力は不可欠である。しかし、指導を受けるばかりで、「地域の方の願い」を受けるという視点はなかった。子どもが自分から課題意識をもって取り組み、さらに地域貢献する意識を持つことができる感じた。  
・「マイプロ」の取組も、生徒が自分から問い(課題)をもち、その解決に主体的に取り組めるカリキュラムができていると感じた。全国学力調査において、「自己肯定感」や「地域貢献」の点で大きくポイントが伸びているのが素晴らしい。(飛騨地区 小学校)

学園として市単位で育てたい資質・能力が設定されていることに魅力を感じました。資質・能力が明確化されているので、地域のサポーターにとっても、わかりやすいと感じました。(飛騨地区 小学校)

地域連携コアチームや CS 学校支援部協力員の活用が大変参考になりました。本校でも取り入れてみたいと感じました。(美濃地区 中学校)

総合的な学習を核としたカリキュラムの改善に、教頭としてどのように関わっていくのか、どんな指導や助言ができるのか、自校の取組を例に考えてみるきっかけをいただきました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

縦のつながりの重要性を実感した。義務教育の出口である中3の目指す姿を小中で共有することで、9年間を見通した系統的な指導につながると感じた。(東濃地区 小学校)

マイプロジェクトの実践では、生徒の思いの実現を地域とつなげて、地域の担い手になれる人材を育成しており素晴らしいと感じた。(西濃地区 小学校)

地域の人、もの、ことを生かして取り組むことの大切さがわかりました。(岐阜地区 小学校)

地域との連携のシステムが構築されており、大変参考になりました。(岐阜地区 中学校)

とても参考になりました。(西濃地区 小学校)

総合的な学習の計画を育てたい資質・能力で見直されたことが素晴らしいと思いました。(西濃地区 小学校)

持続可能な地域との繋がりを生み出していきたい。(飛騨地区 中学校)

マイプロの取組、参考にさせていただきたいと思いました。(岐阜地区 中学校)

地域連携の中で教頭の果たす役割や働きかけが参考となった。(飛騨地区 中学校)

地域連携コアチームという組織を作って、地域との連携が円滑に進められていることが参考になりました。(西濃地区 小学校)

本校は今年度末をもって閉校し、統合先の小学校では学校運営協議会を立ち上げようとしています。地域と学校をつなぐ体制づくりの実践は具体的な内容を見せていただくことができ、参考になりました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

地域と学校の対話について、地域連携コアチームを組んだり、コラボルームを設置したりといった新しい取り組みがとても新鮮でした。今後の参考にさせていただきたいと思います。(西濃地区 中学校)

職員がかわっても、ふるさと学習が滞ることなく、スムーズに学習ができることは、自校にとっても大きな課題です。教頭して出来ること、組織づくりなど学ばせていただきました。ありがとうございました。(飛騨地区 小学校)

教頭が地域連携協働主任としてコアチームのリーダーシップをとり、地域の願いを吸い上げて、地域貢献できる児童生徒の育成を図っている仕組みを学ばせていただきました。(西濃地区 小学校)

本校はへき地・小規模校であり、校区から遠く離れた市街地から勤務する者がほとんどで、3年程度で異動してしまうのが現状です。ふるさと教育について、地域の方からは教師の異動が多くて取組が継続されないという意見は実際に聞かれます。その点からも、今回の飛騨市の実践からは、体制づくりなど大変参考になるものでした。ありがとうございました。(飛騨地区 中学校)

コアチームを位置付け、効果的な組織化ができていることが素晴らしいと感じました。いかに地域と連携を図れるかがキーになっていると思いました。(岐阜地区 小学校)

学校運営協議会と児童との会がとても良いと思いました。(東濃地区 小学校)

地域の特性を生かし、地域ぐるみでふるさと教育を実践している仕組みづくりがよく分かりました。(岐阜地区 小学校)

教育課程については、各学校でのさまざまな工夫がされていると思いました。ただ、私たちも悩んでいるのは、地域とのつながりで、学校運営協議会や学校評議員会などを通じて、いかに発信していくか課題としています。今回の発表をヒントに本校でも進めていきたいです。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

地域の人材を活かした教育の在り方について知ることができた(可茂地区 小学校)

マイプロの取組により、生徒の地域への関わり方の意識の変化が見られ、大変よい転換が図られたと感じました。(岐阜地区 小学校)

市を挙げて飛騨びとを育てていく組織的な歩みとその中核となり、地域との連携を図る教頭先生方のご尽力に深く感銘を受けた。(岐阜地区 小学校)

現在、本校でも取り組んでいる学校運営協議会との連携のヒントとなった。(西濃地区 小学校)

児童生徒と学校運営協議会の委員の方との懇談を位置づけて、実践につなげてみえる点が大変参考になりました。本校においては、まだ、教頭や校長ができる範囲での活動を職員に投げかけ、その次に児童の活動とつなげて協働体制を構築しています。本校においても、児童の声を取り入れて、児童が一地域人として貢献していることを自覚できるようにしていきたい。さらに、地域コーディネーターを保護者や地域の方に担っていただき、持続可能な協働システムを構築できるとよいと思いました。(可茂地区 小学校)

地域連携コアチームを核とした組織で、職員を上手に巻き込みながら地域活動を行なっているところが大変素晴らしいと感じました。子供たちが地域に提言したりと、地域に生き、地域を担っていく子供の姿が頼もしいと思いました。(美濃地区 小学校)

地域の「誰か」が子どもたちの育成に関わるのではなく、地域の「みんな」が関わるということが明確になっている学園構想があることで、住民ひとりひとりが何かしらの当事者になれるところが飛騨市の特長と思います。学園構想をうけての各学校の実践、改めて素晴らしいと感じました。子どもたちの資質能力や自己肯定感だけでなく、関わる人々の肯定感、貢献感も高まることが期待される実践と思います。教頭先生方にはここまでの準備、本当にありがとうございました。飛騨市の皆様、各学校の益々のご発展をお祈りします。(飛騨地区 小学校)

総合的な学習の時間における地域との連携の在り方について、参考にしたいことがありました。自校のカリキュラムの見直しにつなげたいです。(飛騨地区 中学校)

教頭としての使命を感じました。(東濃地区 中学校)

今後にむけて課題としたことの改善に努めたいと思います。(飛騨地区 小学校)

生徒が満足する学びをするためには、教師自身が地域のことを知る必要がある。知るためのコーディネートを経験することで職員が学び、より濃い内容を求めることができると再確認した。(飛騨地区 中学校)

組織と対話の場を工夫したことで地域と学校の連携や協働が教頭のおかげで活発になったと話されていたところに教頭が十分なコーディネートされたことがよく伝わってきました。(東濃地区 中学校)

本校は3年後から義務教育学校になるが、ますます地域とのつながりを深めていく必要がある。地域連携コアチームのような仕組みを考え、教材開発や授業の打ち合わせにかかる教職員や地域の負担を軽減しつつ深みのある学びができるように、今回の提言を生かしたいと感じました。(東濃地区 小学校)

市全体で子どもを育てようとする思いが伝わってきました。特に、子どもと指導者のつながりをつくったり、子どもが学校運営協議会へ要望や質問をしたりするなど、子どもが中心となって活躍する実践が素晴らしかったです。また、他者との協働や教科往還的な指導をポイントにしたカリの改善は大変だったと思いますが、その成果として子どもたちの自己肯定感の高まりにつながっています。これからも素敵な飛騨びとが育つことと思います。(岐阜地区 小学校)

飛騨市が一丸となってふるさと学習に取り組んでいることがよく分かりました。特に、地域連携コアチームの取組に興味深く視聴しました。教頭1人が地域との連絡・調整を担うと、負担が増え、丁寧な連携ができません。このようにチームを作って組織で対応あうことで、より、密な連携をとってふるさと学習を充実させることができます。この成果として、教頭が異動しても支障なく継続できたということに表れていると思いました。また、古川中のマイプロ活動は、常に生徒の出口の姿を描き、それに向かって進んでいく素晴らしい取組であり、勉強になりました。(西濃地区 小学校)

飛騨市の発表より、地域との連携方法(コラボルーム・地域連携ボード)が大変参考になりました。(可茂地区 小学校)

教頭が地域連携協働における主任になることで、ハブ的な役割を果たせるので、運営・活動がスムーズに行われると感じた。(美濃地区 中学校)

地域連携コアチームと地域学校協働活動推進員との対話によって、マイプロを実現し、児童生徒が自分事として学習に取り組むプログラムを実践しているところが参考になりました。教員が異動しても、学校が地域と連携する仕組みが強固であれば、ふるさと学習は継続、進化していけると感じました。(可茂地区 小学校)

地域と学校の連携・協働を持続した取組になるよう仕組みづくりや工夫していることが分かった。教科の学習だけでなく、最終的に地域で活躍していける人を育てているんだという自負も感じられる発表だったので、同じように地域としてよさを学びたいと感じた。(飛騨地区 小学校)

子どもが運営協議会に話をするなど、地域と連携する際にも必然性や工夫があり、いいと感じました。(飛騨地区 小学校)

小中連携を進め、学校と地域がともに目指す姿を共有して取り組んでいるところが素晴らしい。組織作りはビジョンをもって行わなければ効果は出ないと考える。しかし、児童生徒の地域に関わる意識の変化に確実につながっていることが素晴らしい。意図的な取組が全市的に実施されようとしているところに学びがあった。(飛騨地区 小学校)



地域の方と一緒に各学年のふるさと学習の内容やカリキュラムについて考えるワークショップは、地域の方にアドバイスいただいたり、教員と地域の方をつなぐ場にもなるので、とても有効であると感じた。(可茂地区 小学校)

地域との連携がとても性急な課題となっているので参考になりました。(東濃地区 小学校)

地域連携強チームの活動としてコラボルーム、地域連携ボード等の取り組みが印象的だった。(岐阜地区 小学校)

「ふるさと教育」は、子どもたちが将来、国内や国外で学んだり、生活したりする時に比較するための基盤であり、自分のふるさとを知っているからこそ、よさや違いが分かり、多様性を考え、理解することができる。小中学校時代にふるさと教育を充実させることは重要で、地域連携コアチームの在り方、カリキュラム編成のポイントは、即実践につながることで勉強になりました。改善の重点として、職員と子ども、保護者、地域の関係機関の方がいかに同じ願いをもち、参画するかが大切であることを再確認できました。「地域をよくしていくために自分は何かできるか」の項目が向上するように、次年度に向けて学校組織・教育課程の在り方を考えていこうと思いました。貴重な実践ありがとうございました。(可茂地区 中学校)

飛騨市全体が地域との協働を大切にしていることがよく分かりました。古川小の学校運営協議会に児童も出席し、そこで出た意見でグラウンドゴルフを地域の方と一緒にに行ったという実践は、真似してみたいと思いました。教師主導ではなく、子どもたちがやりたいという願いを大切にしたい取組は、参加者みんなの心に残るものだと感じました。(飛騨地区 中学校)

飛騨市ならではの実践を聞くことができ、教頭として頑張ってみえる姿に共感し励まされました。(東濃地区 中学校)

子どもたちが地域に愛着をもてるかは、地域の大人といかにふれあい、関わるかが大切になってくると思います。地域ごとに、扱える素材は様々で、同じことはできないと思いますが、地域との連携は教頭が担うことが大きいと思います。児童だけでなく、教頭も職員もやりがいをもてることがポイントになってくると思います。(岐阜地区 小学校)

地域と学校をつなぐ組織づくり、対話の場づくりとして、職員や児童生徒が自分事として、考え、主体的に取り組む仕掛けが、大変参考になった。学校運営協議会の場で、児童生徒が、こんな学校にしたいと熱く語る姿に刺激を受けた。児童生徒の願いが叶うことで、主体性や地域への愛着を育むことにつながると考えると、自校でもそのような場を検討していきたい。(岐阜地区 小学校)

体験等に意識が集まり資質・能力の向上に向いていないことは本校も同じでした。(東濃地区 小学校)

生徒が地域で生きていく力をつけることは、本校においても重点課題として取り組み始めたところです。「コラボ神岡」は、地域で生き続ける生徒たちを継続的に育てていくうえで、とても有効な取組であると感じました。教頭会としての三つの取組「地域連携コアチームを核とした組織づくり」「対話の場づくり」「総合的な学習の時間を核としたカリキュラムの改善」は、どれか一つ欠けても継続につながらない視点であると学ばせていただきました。特に、①については、地域や他校との連携をしていくうえで、教頭がリーダーシップを発揮する場面であると捉えました。参考にさせていただきながら、一つでも実践につないでいきたいと思っています。(岐阜地区 中学校)

地域人材の活用に関して、情報を共有することの必要性和大切さを学びました。(飛騨地区 中学校)

地域との連携が大きな背景となり、良い活動をされているとしました  
(可茂地区 中学校)

組織を生かして、地域の共通課題を解決する方を学ぶことができました。(岐阜地区 小学校)

体制づくりだけでなく、対話を生み出す場の設定が、大きな推進力となることを学んだ。(岐阜地区 中学校)

年度はじめの研修会、ワークショップは、興味深い取り組みだと思っ思った。地域のことまで、なかなかわからないので地域の方にカリキュラムを見ながら直接お聞きできるのは、よいなと思っった。(岐阜地区 小学校)



自分自身が飛騨地区に赴任していた際、地域の方々とつながりの強い地区であることを感じていたことを思い出しました。その地域の特性や地域の方々の願いをふるさと教育に活かしていくことの大切さを改めて学ばせていただきました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

本校の地域では、来年度から大垣市初の9か年の義務教育学校が開校します。地域の方の協力を得ながら学習や学校生活を行っていきます。そのための組織作りや運営面において多くの課題があります。教頭が出すぎてもいけないし、地域に任せすぎてもいけないしその塩梅に苦慮してきました。飛騨市の実践を学ばせていただき、組織や総合的な学習のカリキュラム編成など参考になりました。特に、コラボルームの設置と地域連携ボード常設は、地域と学校の連携が円滑になりますし、新メンバーが入れ替わっても分かりやすく素敵だと思いました。マイプロジェクトで地域貢献では、子どもたちが地域に貢献している実感がもて、ふるさとを愛し、大人になってこの地域に戻ってきてくれるような気がしました。ありがとうございました。(西濃地区 小学校)

対話づくりをチームで取り組むことの効果を感じました。(飛騨地区 中学校)

地域の特色を生かした教育課程を組み、実践をされていることにとても勉強になりました。(岐阜地区 中学校)

マイプロで地域の一員として、地域に貢献しているという実感をもたせているところが勉強になった。(岐阜地区 小学校)

9年間で身につけさせたい資質・能力について、教科や学年など、横のつながりや縦のつながりを捉え直して取り組むことのよさを学ばせていただきました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

教頭が地域連携主任として、担任の負担軽減のために連絡調整を行ったり、活動の部屋の設営や連携ボードの設置等を行ったりして、多方面から体制を整えてみえることに感動しました。子どもたちが地域の一員としての自覚を高めていくことは、目指す姿に近づく方法の一つとなると思いました。具体的な方策が大変勉強になりました。ありがとうございました。(岐阜地区 小学校)

総合的な学習の時間を内容ベースから資質・能力ベースへ転換し、カリキュラムの改善を図ったことがとても勉強になった。地域素材を学ぶだけにとどまらず、地域の方の願いを生かした指導計画により、子どもの探究活動を促す効果が見られた。(岐阜地区 中学校)

小規模校が多いと思うが、教頭会等だけでなく日常的に情報交流を行うことは見習いたい。地域と密に連携した活動は素晴らしい。(岐阜地区 小学校)

学校運営協議会を市全体で進められていて素晴らしいと思いました。目指す姿を統一にしていくことで市全体、町全体で児童、生徒を育てている感じがとてもよいと思いました。(可茂地区 小学校)

市全体でふるさと教育に一貫して取り組むことが素晴らしい。ふるさとに魅力と誇りを持ち、地域に貢献する飛騨びとの育成は、小中学校で共通実践され、地域の子どもは地域で育てるという意識が、地域、学校、保護者に共有され、有効的に活動されている。マイプロのとりくみは、各自が課題設定し、子どもの郷土に対する思い入れを高めることにつながっている素晴らしい実践です。(岐阜地区 小学校)

ふるさと教育には、様々な機関とつながるために、教頭がキーマンとなることが大切だと改めて認識できました。(岐阜地区 中学校)

本校は学校運営協議会の取り組みが本年度からなので、すべてが学びでした。学園構想の地域のねらいや目標、子供を育てていく時の理念などが地域で共有されていること、そして、組織や環境を整えて行われたことを具体的に紹介して下さって、コラボルーム等、本校でも設置したいと思いました。一番大事なのは、地域の方々とどのようにつながるか、実態に合わせて工夫し取り組むことだと思いました。(可茂地区 小学校)

マイプロで自己有用感・自己肯定感が上がったということで良い取組だと思いました。(飛騨地区 中学校)

高山市の隣市であるが、飛騨市の教育重点や独自の取組について知らなかったことが学べた。古川中の「マイプロジェクトで地域貢献」が興味深かった。(飛騨地区 中学校)

地域と学校の連携が持続可能な形で進むために、教頭が組織のあり方を提案することが大切だと感じました。経験年数を重ねるごとに気づくこともあるため、市内の教頭会で話題にできたらと思います。(岐阜地区 中学校)

地域の方と子どもたちが一緒に話し合う体制は、より子どもたちの主体性や自己有用感を高めることにつながるものだと感じた。(東濃地区 中学校)

教頭の負担が大きくないか、心配。(飛騨地区 小学校)

教頭自らが地域連携協働主任となった地域を巻き込む組織体制が大変参考になった。(飛騨地区 中学校)

地域の特色を生かした総合的な学習の時間のカリキュラムのため、系統性のある改善が必要であると感じた。(岐阜地区 小学校)

学校の特色ある教育活動として総合的な学習の時間を核にふるさと教育をテーマに教区課程の編成を工夫しているところを見習いたいと感じました。(西濃地区 小学校)

教頭が学校と外部との繋ぎ役となること。地域の方と職員が自由に意見交流するワークショップを仕組み事で、自分事という意識が芽生えたというところに惹かれた。(美濃地区 小学校)

外部との新たな組織を立ち上げ、地域に根差した教育を展開していることを素晴らしいと思いました。(美濃地区 中学校)

高山市もいろんな地域が入り混じっているの、それらをまとめ役が必要だと思いました。(飛騨地区 小学校)

地域貢献を観点とした小中学校連携の活動内容が興味深かったです。(東濃地区 小学校)

今年度から赴任し、初めて会う地域の方々とコロナ☒の行事を行うことが増え、知らないことばかりなので戸惑うことが多かった。第1分科会の発表を拝聴し、年度が替わってもスムーズにつながっていける工夫は大変参考になりました。(美濃地区 小学校)

地域の特性を生かすため、地域人材を活用するなど、地域から教育活動に支援を受けることは多い。一方で、学校がその支援を受けながらどんな教育活動を行ってるかを、地域の皆様に知っていただくことは、地域と学校が一体となって教育を進めるためにも重要だと思う。発表の中にあつた、報道や学校だより等を積極的に活用することは、教頭として大切な役割だと思った(飛騨地区 中学校)

地域と学校が一体となって取り組む方法に学びがある。(岐阜地区 中学校)

教科横断的な教育課程に取り組みたいです。(東濃地区 中学校)

地域と学校とを接続する教頭の役割の大きさを実感した。(飛騨地区 小学校)

総合的な学習を内容ベースから資質能力ベースでカリキュラムを作っていることを本校でも取り入れたい。学習を進める上での連絡調整に手間がかかるのは必至。その担当を教頭と外部が担うことはいいこと。私も前任校でプラットフォーム作りをしたいと思ってきたが、実現できなかったの、詳しく知りたい。教頭の負担は大きくないか心配ではあります。(飛騨地区 小学校)

小学校から中学校にかけて、地域をテーマに総合学習に取り組むことで、一貫したプログラムを作ることができるのですね。このプログラム、カリキュラムで学び、育った子供達が、この先、どのように社会で活躍していくかが楽しみです。少人数だからできる学習内容で学びを重ねたこと、この仲間との関係を大切にできたことがこの子達に、故郷に自分のルーツをもつことにつながっていくのではないかと思います。(東濃地区 小学校)

古川中学校のカリキュラムのデザインがとてもわかりやすく、地域の願いを直に受けて学校の目指すものが考えられているところが良かった。地域人後継者が育成され地域の存続につながる実践だと思った。(東濃地区 小学校)

市全体で一つのテーマで研究できることがよいと思いました。(飛騨地区 小学校)

地域連携やふるさと教育について参考となる実践でした。(美濃地区 小学校)

地域連携の役割を明確にすることで、推進力が発揮されることが分かりました。神岡中の実践では、地域連携コアメンバーを位置づけることで連携だけでなく、職員の年次のつながりを作り出す研修会はとても大切だと思いました。総合的な学習など地域講師を活用した学習は口伝になってしまうことが多々あり、担当職員が居なくなると滞ることがままあります。研修会をしたくてもなかなか取り組めないですが、明確な役割分担できっと長く続けられる実践だと感じました。(飛騨地区 小学校)

地域と学校をつなぐ学校体制づくりについて、今後の参考になりました。(美濃地区 中学校)

地域によって子どもの育ちが変わることを実感しました。資質・能力を育むために目的を明確にして取り組んでいることが参考になりました。本校でも出口の姿を描いて豊富な自然と人材を活かせるよう考えていきます。(東濃地区 小学校)

志を語り合いしなやかに挑み続ける飛騨びとの育成の為に、教頭先生方が中心となり、連携を取りながら取り組んでいるという形を作り上げた事はすごいと思いました。けして、学校だけでなく、地域との連携を大切に思い取り組める仲間がいるからこそと思いました。勉強になります。(飛騨地区 小学校)

地域と学校をつなぐ学校体制づくり(飛騨地区 小学校)

子どもは地域の中で育ち、地域のよさを実感し、自分の地域が好きだと言ってほしいといつも思います。今回の発表を聞いて、そのためには、小さい時から地域の方と関わり、地域のよさを実感していくことが必要で、地域の方(学校運営協議会)との話し合いを大切にして、地域と共に子どもたちを育てていくよさを改めて感じました。もっともっと地域との対話を大切にし、つながりを作り、進め、子どもたちの成長につながっていくよう、カリキュラム等も見直していきたいなと思いました。(西濃地区 小学校)

地域連携の中心は教頭であり、教頭がいかに地域連携が円滑に行える組織を作り、機能させていくかが大切であると学びました。(飛騨地区 小学校)

これからの学校は地域と密に連携をして児童生徒を育むことが必要で有り、しかし、内容ありきではなく、資質・能力の向上を大切にしたカリキュラムづくりの提案であり、是非参考にしていきたいと感じました。(東濃地区 中学校)

地域のことを学校が知ることは大変困難です。コアメンバーの役割とコーディネート力が必須だと思います。(飛騨地区 中学校)

飛騨市全体で、飛騨市学園構想をもち、「飛騨びと」を育てる事に対して研究を進めていってほしいことで、市内で進むべき共通の土台があることで、研究の深まりが感じました。特に、総合的な時間を核としたカリキュラムマネジメントは、大変参考になりました。本校でも、活動ベースの総合的な学習を変革しなければと考えていたところでしたので、来年度に向けての計画に活かしたいと思いました。ありがとうございました。(東濃地区 中学校)

恵那市もふるさと教育を進めています。本校においても地域の方の協力を得ながら、ふるさと教育に取り組んでいますが、今は地域のよさを感じる事が中心になっています。発達段階に応じて、飛騨市のように課題解決型のふるさと教育の在り方を考え、取り入れていく必要もあること、教頭としてどう動いていくとよいかを参考になりました。(東濃地区 小学校)

・「地域連携コアチーム」を核とした組織づくりについて。この組織の考え方は、他のものにも活用できそうだと感じた。

・「児童と学校運営協議会が語る会」について、児童生徒の意見を取り入れることで、マンネリ化しがちな学校運営協議会が活性化すると感じた。ぜひ、本校の実践でも取り入れていきたい。(岐阜地区 中学校)

発表者の一人です。自身の学校の取組を振り返る良い機会をいただきました(飛騨地区 中学校)

内容ベースから資質能力ベースへの変換が大変参考になりました。ありがとうございました。(可茂地区 中学校)

総合的な学習の時間を核としたカリキュラム改善の取組を、たいへん興味深く拝聴しました。目指す資質・能力を明確にした様々な取組により、子どもたちの意識が変わり、地域の行事に進んで参加したり、地域の一員として役に立てる喜びを感じたりする等の割合が増えてきているということが素晴らしいと思いました。地域の方との対話を大切にされ、子どもたちが地域の方の思いを知り、自分たちにできることを考えるということを明確にされた取組から、学ぶべき点がたいへん多くありました。(美濃地区 小学校)

地域の人的リソースを最大限活用し、児童生徒の願いを実現するためのよりよいマッチングを図ることが、地域社会の一員として自ら考え、共に行動できる「地域社会人」の育成に非常に有効であると感じました。本業市におきましても、教育委員会と学校とで、地域の人的リソースを共有し、有効に活用しようと取り組んでいます。あらためて「いつ」「誰と」「どんな内容で」「どのように」関わり、その効果を最大限引き出すか、教頭と担当の教職員とで情報共有を図りながら、マネジメントしていくことが大切であると感じました。(岐阜地区 中学校)

児童生徒が直接、学校運営協議会と関わり、地域との連携を図りながら活発に活動して、その中で協働的な学びがみられ、素晴らしい活動であると感じました。(可茂地区 小学校)

地域とどのように繋がりをもつか、組織や場の設定などの実践が大変参考になりました。ありがとうございます。自分自身が今年度から学校運営協議会発足2年目の学校に勤務し、学校の窓口として地域との繋がりをもつ役目のため、他地区・他校における実践から学んでいかなければならないと思っています。人材発掘と時間や場所を確保することの大切さを実感するとともに、その大変さ、難しさも痛感しています。(東濃地区 小学校)

学校運営協議会の在り方を再確認することができました。本校だったら、どのようなことができるかを考えるヒントになりました。(可茂地区 小学校)

本校では、今年、町内の学校と統合して新たなスタートを切りました。総合的な学習の時間のカリキュラムも昨年度より見直し、修正、追加等を行ってきました。統合したことで統合した学校のカリキュラムも踏まえ現在取り組んでいます。年度当初にカリキュラムの確認をすることの大切さとともに全職員の共通理解を図ることの大切さを考えることができました。新しく転任されてきた先生も安心してスタートができると思います。(可茂地区 小学校)

運営協議会への生徒の参加など、思い切った工夫があり、型にとらわれず挑戦していくことが大切だと学びました。(西濃地区 中学校)

他の動画を視聴した後、自地域の発表を改めて見直ししました。近い取組をされている他動画から、私たちの取組にさらに取り入れられることがあると感じました。(学校間をつなぐこと)(飛騨地区 中学校)

学校運営協議会の内容について、もう一度見直しをし、どんな子供を育てたいかという夢を語る場としてもいいんじゃないかと考えた。で、そのために何をしていくのかを共有して地域ぐるみで子どもを育てるという意識を高めていきたい。(西濃地区 小学校)

地域素材を生かした総合的な学習の時間の創造では、地域の方の願いを子どもの学びの主体性につなげて課題設定力を育もうとされたところが素晴らしと感じました。本校でも取り入れていきたいと感じました。(西濃地区 小学校)

実効性のあるコミュニティ・スクールの運営について参考にさせていただきます。(可茂地区 中学校)

1校ずつが単独で取り組むより、近隣の数校が共同で組織づくりをして取り組んだ方が、よりダイナミックな活動になることを改めて気づくことができました。(西濃地区 中学校)

「いつか戻ってくる」そんな故郷教育をしたいといつも思っています。仕事で故郷を離れることはしかたなくとも、「祭りは戻ってくる」など…。以前勤務した地域でも同様のふるさと教育を行っており、とても大切だと感じました。(どうやら、その時の教え子たちは、地域の祭りに参加していたようです。)(東濃地区 中学校)